

知事の米国渡航中の行事結果について

5月8日、知事は米国テキサス州ヒューストン市において、日本テキサス経済サミットに出席し、全体会議の中で基調講演を行いました。また、同サミット出席のためヒューストンを訪問中の杉山駐米大使、プレイノ市ラロシリエール市長及びサンアントニオ市ニーレンバーグ市長とそれぞれ面談するとともに、スペースコム事務局を訪問しました。

日本テキサス経済サミット

- ・米日カウンシル（※）が主催し、在米日本大使館やテキサス州政府支援の下、「日本とテキサスの経済交流の促進」をテーマに開催される経済会議。
- ・5月7日（月）から9日（水）までの3日間開催され、日本とテキサス州の行政及び経済界の代表者約300名が参加し、基調講演やパネルディスカッションが行われる。
- ・昨年ハワイで第1回が開催され、今回は2回目。

※米日カウンシル

日米関係強化のために活動している米国の非営利団体。ワシントンDCに本部を置く。会長はアイリーン・ヒラノ・イノウエ氏。

1 日本テキサス経済サミット 全体会議

(1) 日時

5月8日（火）12:30～14:15（日本時間9日（水）2:30～4:15）

(2) 場所

マリオット・マーキス・ヒューストン

(3) 基調講演者

大村秀章 愛知県知事

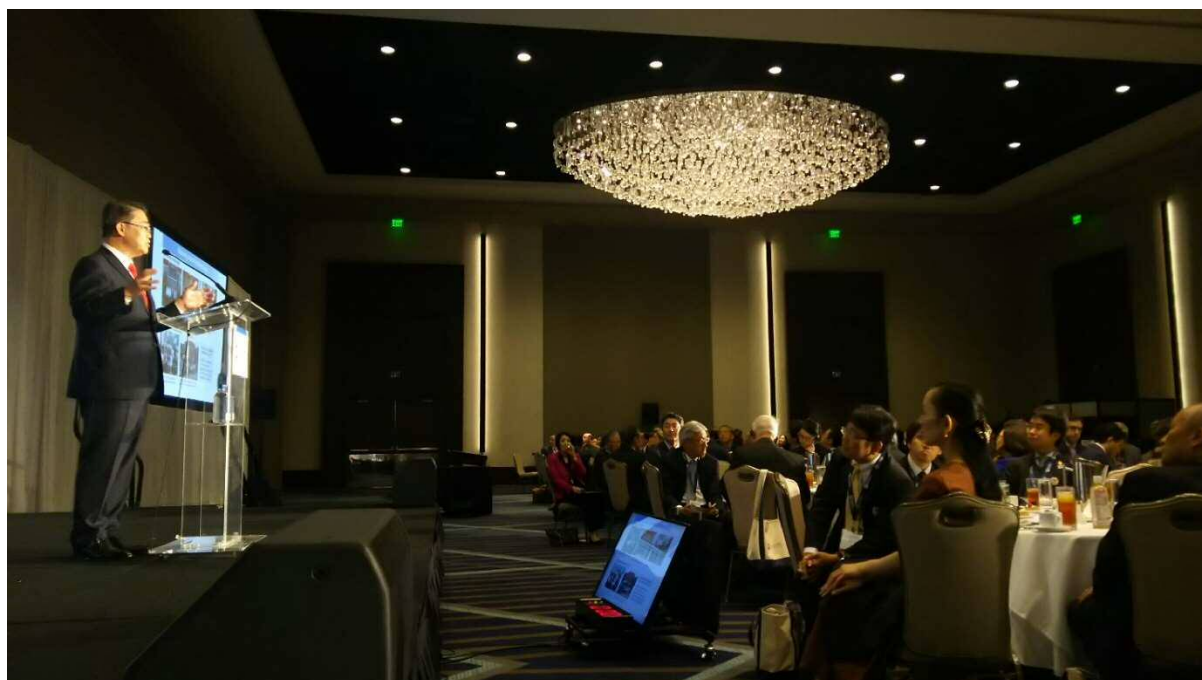
早川 茂（はやかわ・しげる）日本経済団体連合会副会長（トヨタ自動車取締役副会長）

(4) 内容

知事は、「愛知とテキサスの経済交流の促進～愛知イノベーション革命 成長モデルの更なる進化へ～」と題して基調講演を行い、愛知には日本一の産業集積があり、それがさらなる集積を呼び、イノベーションを創出する愛知型の成長モデルで発展を続けていること、また、さらなるイノベーションの創出を目指して、水素エネルギーの

活用や自動運転技術の開発、ロボット技術の活用、航空宇宙産業の活性化等のための様々なプロジェクトが進んでいること、さらに、2022年度中の開業を目指している「ジブリパーク構想」について紹介した。

そのうえで、成長を続けるテキサスにおいても、トヨタの北米本社が立地したこと、高速鉄道事業やエネルギー関連事業など愛知県企業に関わる多くのプロジェクトが進められていること、愛知県とテキサス州が2016年に「友好交流及び相互協力に関する覚書」を締結以来、行政・経済分野での新たな人的交流が始まっているほか、高校生訪問団の往来など、若い世代の交流も進んでいることを紹介し、日本と米国の成長の中心となっている愛知とテキサスが、今後も様々な分野で交流を拡大していきたい旨を述べた。



講演の様子①



講演の様子②



講演の様子③

2 杉山駐米大使との面談

(1) 日時

5月8日(火) 7:30~8:30 (日本時間 8日(火) 21:30~22:30)

(2) 場所

マリオット・マーキス・ヒューストン

(3) 面談者

杉山晋輔(すぎやま・しんすけ) 駐米日本大使

在アメリカ合衆国大使館 森哲也(もり・てつや) 参事官

在ヒューストン総領事館 岩崎竜司(いわさき・りゅうじ) 首席領事

(4) 内容

日米関係全般及び自動車や航空宇宙産業など愛知の動向について意見交換した。大村知事からは、愛知とテキサスが2016年に覚書を締結して以来、両地域が着実に交流を重ねていることや、テキサスを始め米国において多くの愛知県企業が活発に事業を展開していることなどを紹介した。大使からは、「元気な愛知が進めるアメリカ各州との友好交流は、日米両国の良好な関係強化につながるもので大いに期待している」との話があった。



面談の様子



杉山大使との記念撮影

3 プレイノ市長との面談

(1) 日時

5月8日(火) 11:25~12:00 (日本時間9日(水) 1:25~2:00)

(2) 場所

マリオット・マーキス・ヒューストン

(3) 面談者

ハリー・ラロシリエール プレイノ市長

(4) 内容

大村知事は、「愛知県とテキサス州が2年前に覚書を締結して以降、昨年10月にはラロシリエール市長にもご来県をいただくなど、両地域は着実に交流を重ねている。特に若者の交流が行われていることを嬉しく思う。」と述べた。また、「昨年7月、トヨタが新しい北米本社をプレイノにオープンさせており、プレイノは愛知県にとって特別な地である。プレイノには近年、他にも多くの有名企業が本社や主要オフィスを移転させており、目覚ましい発展を遂げているとお聞きしている。今後とも進出企業へのサポートをよろしく願いしたい。また、ビジネスに加えて文化や若者の交流を進めていければと思う。」と述べた。

ラロシリエール市長からは「プレイノ市にとっても、愛知県は特別である。トヨタが北米本社を移転させたことが起爆剤となり、多くの日米の企業がプレイノに移転してきた。大村知事は若者の育成にビジョンを持っていると感じている。今後交流を更に進めていくためには、若者の交流が必要不可欠であるので、実現できるように努力したい。引き続き協力していくことが、市の発展に役立つと考えている。」との発言があった。



プレイノ市長との面談



プレイノ市長との記念撮影

4 サンアントニオ市長との面談

(1) 日時

5月8日(火) 16:05~16:35 (日本時間9日(水) 6:05~6:35)

(2) 場所

マリオット・マーキス・ヒューストン

(3) 面談者

ロン・ニーレンバーグ サンアントニオ市長

(4) 内容

大村知事は、「サンアントニオには多くの愛知県企業が進出しており、愛知と関係の深い地域である。企業の活動がスムーズに行われるよう、今後もサポートをお願いしたい。」と述べた。また、「2年前、覚書締結のためのテキサス訪問時に訪れたサンアントニオのアラモの砦には、愛知県出身の地理学者、志賀重昂が1914年に献納した石碑があり、1992年にはアラモ側から贈られた檜の木の種子が長篠城址に植樹されている。また、昨年6月には白根直子記念財団が派遣したサンアントニオの高校生訪問団が愛知県を訪問した。愛知とサンアントニオの間で、ビジネスに加えて文化交流が継続して行われていることを大変嬉しく思う。」と述べた。

ニーレンバーグ市長からは「サンアントニオ市には、トヨタ自動車を始め多くの日系企業が拠点を構えており、来週40社目の日系企業がオフィスを開く。経済開発省も含めて協力体制を強化し、今まで以上に経済協力させていただきたい。サンアントニオ市の産業は、自動車や航空産業、IT等、愛知県の産業と似ている部分がある。サンアントニオ市は今年で入植300周年になるが、この歴史の中で特に日本との交流は活発であり、更に継続して交流を深めていければと思っている。愛知県は、産業に加えて教育面でも力を入れており素晴らしい。」との発言があった。



サンアントニオ市長との面談



サンアントニオ市長一行との記念撮影

5 スペースコム事務局オフィス訪問

(1) 日時

5月8日(火) 17:00~17:35 (日本時間9日(水) 7:00~7:35)

(2) 場所

スペースコム事務局オフィス

(3) 対応者

ジェームズ・コーギー エグゼクティブ・ディレクター

(4) 内容

宇宙関連諸産業の大規模な展示会「スペースコム (SpaceCom)」の主催団体であるスペースコム事務局から、事業の概要等について説明を受けた。スペースコムは国際的に知られている展示会であり、小規模企業と投資家を結び付ける役割を果たしているという説明があった。その後、航空宇宙産業分野における愛知とテキサスとの協力・交流等について意見交換を行った。



コーギー氏及びスペースコム関係者との記念撮影